

加藤助教が「越智光夫学長 紫綬褒章受章記念講演会」で講演されました

越智光夫学長が、スポーツ外傷などで起きる膝関節の軟骨欠損症の根治療法としての「自家培養軟骨の開発」の研究成果が評価され、今春、紫綬褒章を受章されました。紫綬褒章とは、学術、芸術及びスポーツ分野で優れた業績をあげた人に送られるものです。この名誉ある褒章の受章について敬意を表し、本学の学生及び教職員に向けて、東広島キャンパスで、下記のとおり記念講演会が開催されました。

越智学長のご意向により、1時間のご講演を30分に短縮して、学長の前に、2名の若手教員の講演が行われました。加藤助教は、これまでの海藻類の系統分類や生理生態学的研究について、栗田准教授は、医療支援機器等に应用される筋肉の動きを可視化する技術について、越智学長は、紫綬褒章受賞の研究成果や、国内外の著名なサッカー・野球選手の執刀を行ったご経験などを交えてわかりやすくご講演されました。

霞キャンパスでも、翌週6月30日に同様な講演会が予定されています。

【東広島キャンパス会場】

日時：平成27年6月23日（火）16:30～17:30

会場：サタケメモリアルホール

開場：16:00～17:30

一次第一

講演1 16:30～16:45

講師：加藤 亜記 助教

大学院生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター

演題：「存在意義を求めて～藻類学との10年、これからの10年」



講演2 16:45～17:00

講師：栗田 雄一 准教授 大学院工学研究院

演題：「主観的感觉をサポートするヒューマン・アシスティブ・テクノロジー」

講演3 17:00～17:30

講師：越智光夫学長

演題：「関節軟骨再生 臨床応用への道程」

